



2023年12月5日 第3457回例会 会場：川越プリンスホテル3階

会員数：102名 免除出席者：3名 正会員出席者：59名 出席者：62名 早退：1名 出席率：60.78% (近藤)

プログラム

点鐘(12:30) / 第1例会：君が代・ロータリーソング(奉仕の理想) / 卓話講師紹介 / 会長の時間 / 幹事報告 / 委員長報告 / ニコニコボックス / 出席報告 / 卓話 / 点鐘(13:30) (司会：小林SAA)

会長の時間



2023-24年度 会長 坂口 孝

理事会報告

- ① 初例会について 承認
 - ② 細則の変更について 継続審議
 - ③ お歳暮について 承認
 - ④ 事務局の賞与について 承認
 - ⑤ 事務局の休暇 12月23日～1月4日 承認
 - ⑥ 川越市の歳末たすけあい募金について 承認
 - ⑦ バッジケースの補修について 承認
- 今回補修で済むが古いものなので全て作り変えが必要な時期がくるかもしれない。

「奉仕の理想」について。日本だけだった地区が分割され2つになるときに日本のロータリーソングがあってもいいのではと、大阪か神戸の地区大会の折全国で募集をかけた。得票では上から2番目、1番は違う歌でしたが、その歌が盗作のような感じだったことで却下されて選ばれたそうであります。「御国に捧げん我等の生業」は、当初は「世界に捧げん我等の生業」だったとのことで、作者が年をとり、いつの日か「御国に捧げん」が「世界に捧げん」に直ることを僕は期待しているとの言葉を残した。

新会員入会式

○高原 央明

(たかはら ひろあき) 会員
埼玉りそな銀行 川越支店長
推薦者：小谷野和博・鈴木健二
所属委員会：ニコニコボックス



○古尾谷 晶子(ふるおや あきこ) 会員
三井住友銀行 川越支店長
推薦者：岩堀和久・野溝 守
所属委員会：出席推進委員会



幹事報告

2023-24年度 幹事 栗原 雄一

- ・12月のロータリーレート
1\$ = 147円 (11月149円)
- ・配布物 ロータリーの友12月号、友要約版
- ・回覧 ガバナー月信12月号
- ・小江戸川越ハーフマラソン協賛の御礼の手紙
- ・坂戸さつきロータリークラブの例会場の変更。

委員長報告

広報委員会 ロータリーの友12月号紹介

12月は疾病予防と治療月間。「認知症を知り、共に生きる地域づくり」専門医に聞く認知症のこと。2025年までに65歳で認知症は5人に1人が発症すると言われている。アルコール摂取量毎日500mlのビールを飲んでいる方は要注意。適度に運動をしてロータリーを退会しないようお願い致します。「バギオ基金が生まれた背景を知る」(津田委員長)

ニコニコボックス

和田(喜)委員

- 新会員高原央明さん、古尾谷晶子さん入会おめでとうございます。ロータリーライフを楽しんで下さい。<会長、幹事>
- 本日の卓話担当山口崇会員宜しくお願ひします。<会長、幹事>
- 先週米山・財団受賞されました皆様誠におめでとうございます。<会長、幹事>
- 野溝さん厚生労働大臣表彰と福祉協議会会長賞おめでとうございます(遅くなりましたが)<立原 PG>
- 埼玉りそな銀行川越支店長高原さん、三井住

友銀行川越支店長古尾谷さん、難しい経済状態
ご指導よろしくお願ひします。〈立原 PG〉

●最近休みがちでしたが、本日は埼玉りそな銀行
高原支店長のご入会、しかも推薦者の一人。会社
の借入利息が急に跳ね上がらない様、最優先
で出席しました。おめでとうございます。(古尾
谷さんも) 〈鈴木 (健) 〉

●古尾谷晶子さん入会おめでとうございます。
〈野溝、小橋、小高、相原、岩堀〉

●高原さん入会おめでとうございます。〈小谷
野、小橋、小高、相原、福岡〉

●高原様、古尾谷様ようこそ川越 RC へ。入会
おめでとうございます。〈蓼沼、水村、須賀、小
林、住谷、小杉、芳野、久保田、小川、西澤、五
十嵐、馬場 (常)、八木、西川〉

●本日、歴史と伝統のある川越ロータリークラ
ブに入会させていただきました。〈高原〉

●歴史と伝統のある川越ロータリークラブに入
会させていただきます。〈古尾谷〉

●山口崇さん、宝くじ必勝方法は？当たった時は
ご馳走します。〈立原 PG〉

●山口崇会員、本日の卓話よろしくお願ひしま
す。宝くじの話楽しみにしています。〈小橋、和
田 (喜)、小杉、鈴木 (壮)、片山、島村、住谷、
西川、神谷、柏倉、石井、齊藤 (智)、吉澤、野
溝、中野 (文)、小高、相原、三田、小林、上原、
芳野、久保田、小川、馬場 (常)、鈴木 (健) 〉

●毎度おなじみの卓話をさせていただきます。
よろしくお願ひします。〈山口 (崇) 〉

●早退1名 (敬称略) 合計89,000円

卓話 担当・講師 山口崇会員

みずほ銀行は1945年に宝くじ
発売以来業務を受託。呼び方は、終
戦直後日本勸業銀行行員が発案し
た呼称。由来は、喉から手が出るくらい欲しい宝
物のようなものが当たるくじ“宝くじ”と名付け
られた。起源は約2000年昔ローマ時代、近代
的富くじは約570年前オランダで町建設や要
塞構築資金調達のため発行した記録がある。日
本の宝くじは約400年前江戸時代初期、その
後は金銭に結び付いて“富くじ”として町に氾濫
し徳川幕府が禁令を出すに至ったのが宝くじの
歴史である。幕府は修復費用調達の方法として
富くじ発売を許し“天下御免の富くじ”“御免富”
と呼んだ。特に“江戸の三富”は谷中の感応寺、



目黒の龍泉寺、湯島天神の“御免富”。幕府公認
の御免富も1842年「天保の改革」で禁止され
103年もの長い間富くじは発売されなかつた。
1945年7月政府は戦費調達を因るため
1枚10円で1等賞金10万円があたる富くじ
“勝札”の発売を当時の日本勸業銀行に命令。み
ずほ銀行と宝くじの永い縁はここから。戦後イン
フレ抑制より「政府第1回宝くじ」を発売。抽
選会は日本橋三越本店で行われ5000人もの
観衆があつた。その後、戦災によって荒廃した地
方自治体の復興資金調達を因るため、地方自治
体が宝くじを発行可能になり、1946年12
月福井県で「福井県復興宝くじ」が発売。その後、
宝くじは都道府県と政令指定都市のみが発売。
宝くじが登場した1945年度販売額は3億
円、2001年度に1兆円の大台を超えた。直近
では2022年度販売額8324億円で、販売
枚数は約35億枚。1年間に日本人一人あたり
約28枚購入した計算になる。高額当選者の発
生ペースを2022年度の当選本数から計算す
ると、1億以上の当選者は29時間に1人、10
0万円以上は28分に1人、ロータリーの例会
1日で億万長者に1人、例会1時間の中でも1
00万円以上当たっている人が2人いる計算に
なる。2022年度、売り上げの46.9%は当
選金として支払われ、宣伝費や印刷費などの経
費を除いた36.7%が収益権として発売元に
納められました。地方自治体によって教育施設、
道路、橋梁、公営住宅、社会福祉施設などの整備
事業や文化芸術の振興、高齢化少子化施策、スポ
ーツ事業の運営費など幅広く公共事業に使われ
ています。はずれたとしても皆様の購入代金は
身近な街づくりに役立ち、実は身近な社会貢献
になっている。宝くじの当選金は1年経過する
と時効となり当選金を受け取ることができなく
なる。2021年度の宝くじの売上は8133
億円で、翌2022年度に時効を迎えた当選金
は99億円。換金されなかつた当選金がみずほ
の収益になっているのではないかと思ひかもし
れないが、収益金として公共事業に活用されて
いる。

最後に国民の健全な娯楽、夢、地方財政の貢献
という側面もあり、是非12月22日の最終日ま
でにご購入いただき、つかの間の夢を追い求め
て頂ければと思います。